

かわうちししおどり
川内鹿踊

- ◇ 指定日 平成21年2月2日
- ◇ 所在地 川内
- ◇ 保持団体 川内鹿踊保存会

安永10年(1781年)の巻物が伝わっており、
仙台の小松の庄に酒屋稼ぎに行った喜惣太^{きそうた}が習
い覚えて帰って伝えたといわれています。

毎年、盆の15日に地区の家を廻って門打ち
し、死者を供養しています。16日には巻物開
きで踊った後、橋や八幡神社で唄をかけて踊り
ます。菩提寺流月院^{ぼだいじりゅうげついん}で回向をして庭踊り「初庭
(ショデイ)」を踊っています。庭踊りには、綱がかり、門がかり、すく踊りも伝承しています。

昔は、旧6月の川内八幡神社の祭りにも踊りを奉納しました。

ショデイの構成は、前庭、くるい、草庭、ヒキサの順に踊ります。囃子は太鼓と笛が2人ずつ
で、しし(鹿)は太夫じし1人、脇じし2人、小じし2人、女じし1人で、幕をさげた鹿頭をか
ぶり幕を振りながら踊ります。

